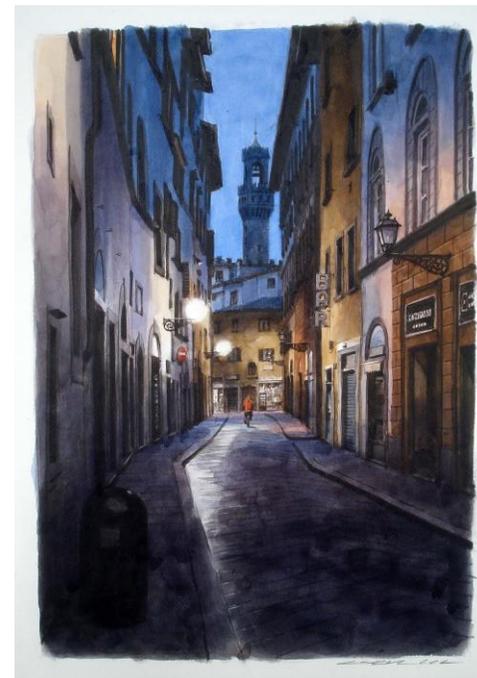




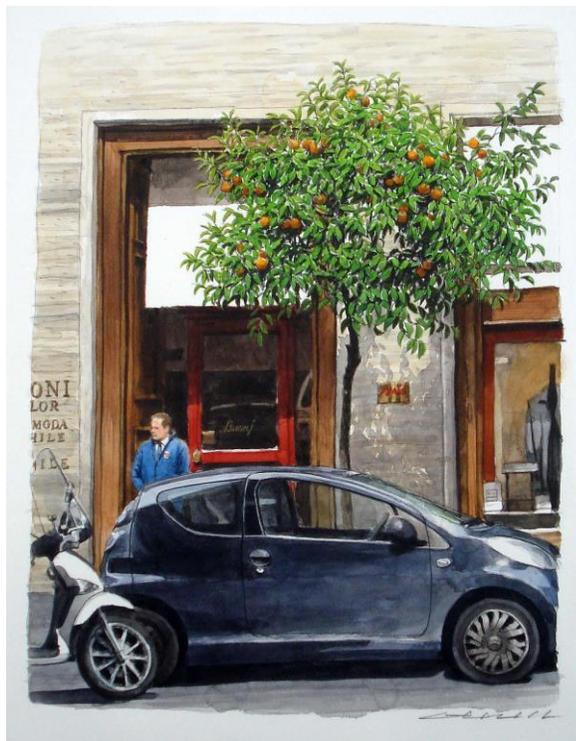
【シエナの路地Ⅲ】
480×330 2020年
紙に水彩
165,000円（税込）

バートシエンナ色の煉瓦が時代を経て黒ずんだところが魅力的です。
この絵の場所はカンポ広場とサリンベーニ宮の間だったと記憶しています。
時々激しい雨に降られてその度にバールで雨宿りしていました。
やはり店によってエスプレッソの味が違います。
たまにこれは、と思う珈琲に出会うとちょっと得をした気分になります。



【ヴィネジャ通り】
480×335 2020年
紙に水彩
165,000円（税込）

フィレンツェ、11月のまだ明けきらない時間帯です。
暗いうちはまだところどころに街灯がついています。
雨に濡れた舗道に光が反射して、もう一つ風景の要素が加わりました。
奥に見えるのはヴェッキオ宮の塔です。



【フラッティーナ通り】
365×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

ローマ、4月。
ブランドショップが並ぶコンドッティ通りの近くです。
この店も高級品を扱う店なのでしょう。
オレンジの樹とベージュの大理石、赤いドアが明るい陽光にマッチしていました。



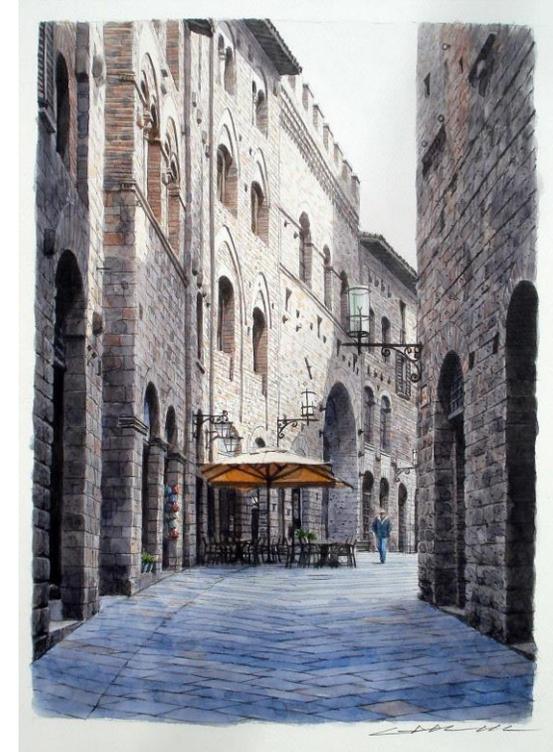
【サンジェルマンの古書店】
380×280 2021年
紙に水彩
165,000円（税込）

古書店の傍らで女学生がなにやら読んでいます。隣の店で買ったばかりの本を家に帰るのも待ちきれず読んでいるのか、それとも友達と待ち合わせをしているのか、いずれにしても読書をしている姿はいいものです。



【サンジャミニャーノⅠ】
380×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

塔の町として知られているイタリア・サンジャミニャーノ。最盛期には72本もの見張りの塔が建っていたそうです。狭いこの町にそんなに多くの塔があったとはちょっと想像も出来ません。現在は14本の塔が残っています。



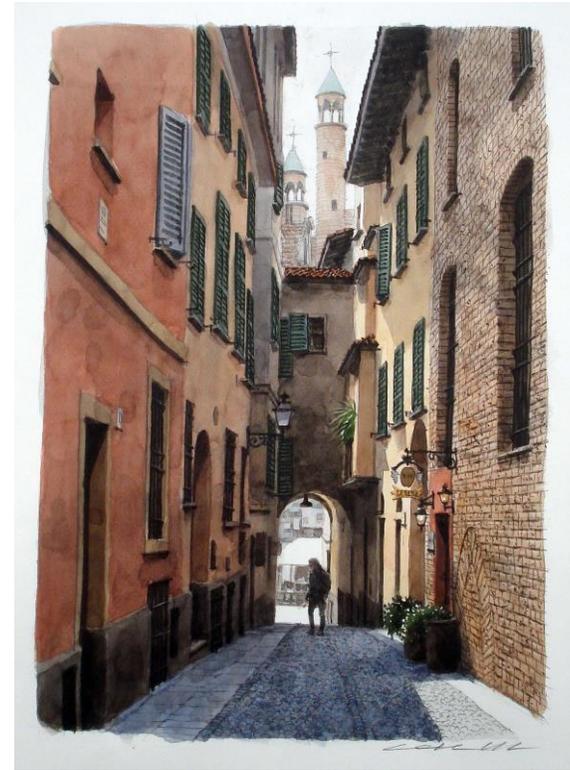
【サンジャミニャーノⅡ】
385×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

シエナの煉瓦は暗い赤茶色。一方ここサンジャミニャーノは明るい薄茶色で風通しがよい乾いた感じの町。40キロも離れていないのに雰囲気まったく違います。



【プロコンソ口通り】
385×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

フィレンツェは魅力的な路地ばかりです。
ここ「ダンテの家」近くも趣きのある建物に囲まれています。
ローマのような巨大な建造物が少ないせいかも知れません。奥の塔はバルジェッロ美術館だと思います。
11月早朝の風景です。



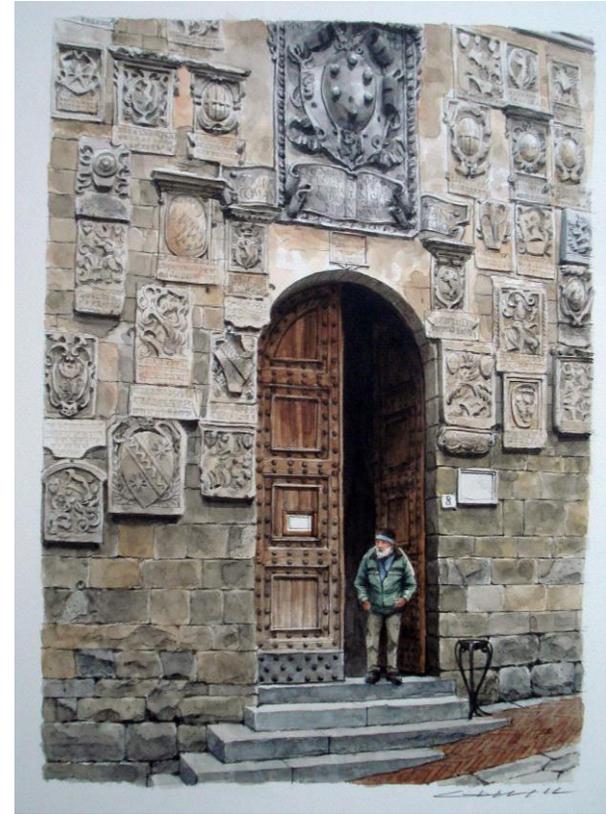
【クレモナの裏道】
390×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

クレモナはミラノからローカル線で1時間ほどのところ。
バイオリンの名器で有名な町です。
ここでは迷子にならなかったのも体力に余裕があり、町のシンボル・トラツツォ（塔）に上ってみました。でも、私
いつ見ても旧市街の赤茶色の屋根は綺麗です。でも、私
にはいつもの裏道のほうが魅力的でした。
奥の2本の塔はクレモナ大聖堂です。



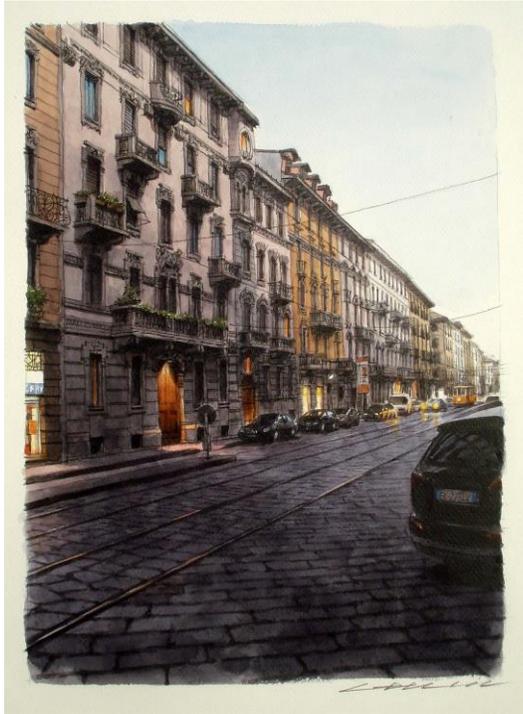
【バルトロメオ教会】
385×280 2021年
紙に水彩
110,000円（税込）

ローマ、テヴェレ川の中州ティベリーナ島にある教会です。10数年前、初めての一人旅でしたので、連日精力的に歩き廻りました。いま思い出すと結構緊張していたのでしょう。気後れして教会内部には入れませんでした。



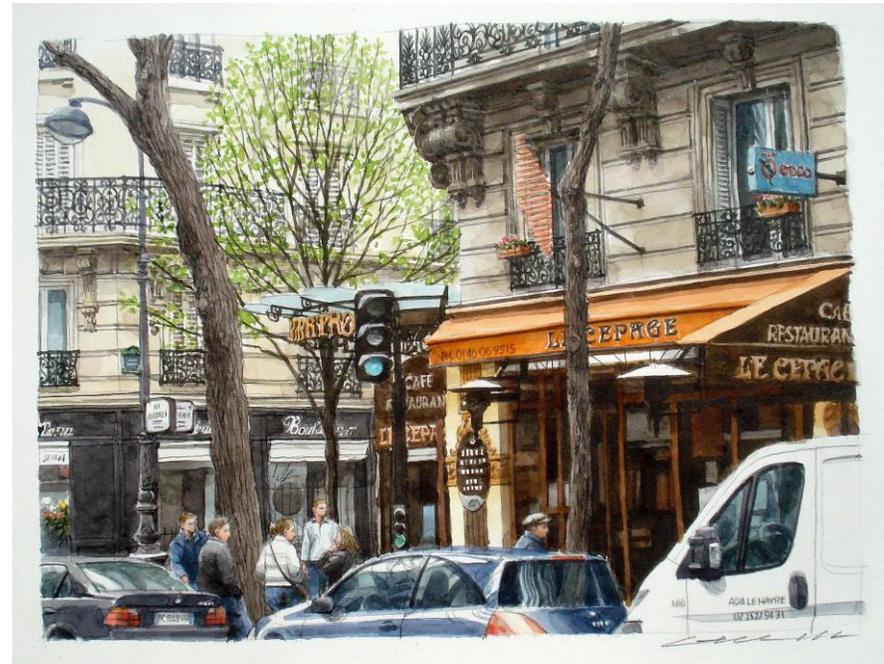
【アレッツォの壁】
385×280 2021年
紙に水彩
110,000円（税込）

アレッツォはフィレンツェからローカル線で約1時間半。最近また注目され始めたP, デッラ・フランチェスカのプレスコ画が多数残っている町です。絵にした壁はトスカーナ大公国の統治跡の建物です。入り口の大きなレリーフはメディチ家の紋章だそう。



【セッテンブリーニ通り】
380×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

ミラノ中央駅から東へ5分ほど歩いたところ。私が滞在していた時の散歩コースです。4月早朝の澄明な空気が心地よく感じられました。向こうから古い型の路面電車がゆっくりとやってきました。



【ラマルク通り】
360×280 2021年
紙に水彩
110,000円（税込）

パリ、サクレクール寺院の裏手の坂道を下ったところです。休日だったようで、この辺りでは不用品を持ち寄って日曜市が開かれていました。時を経て味わい深くなった建物と淡い新緑の樹とのコントラストが印象的でした。



【アルファエニ通り】
380×280 2020年
紙に水彩
110,000円（税込）

フィレンツェ、アカデミア美術館の近くです。
11月は朝7時になるといっせいに街灯が消え、
一瞬の静寂が訪れます。
観光客が繰り出す前の静かな光景です



【トラステヴェレの路地】
355×275 2021年
紙に水彩
110,000円（税込）

ローマの巨大建造物に圧倒されてこの地区に入るとほっと
とします。下町風情の残る町です。歩いているとポールデスモンド
のアルトサックスが静かに流れてきました。音に誘われて
小さな公園のバールへ。
ジャズを聴きながらのエスプレッソは格別でした。



【シテ島のカフェ】
380×280 2021年
紙に水彩
110,000円（税込）

ここはノートルダム寺院の裏側です。季節は4月初旬。
藤の花が咲き始めたころでした。
Vの字に伸びた蔓の樹形が見事です。自然の造形美に思
わず見とれてしまいました。



【ソルボンヌのカフェ】
385×280 2021年
紙に水彩
110,000円（税込）

パリを忙しく取材中、ある時ふとフランスのお菓子を食
べてみようと思いたち、近くにあったケーキ屋でエクレ
アを一つだけ買った。
歩きながら食べてみた。
なんだかそれだけでパリの観光客になった気分になった
のを思い出します。